

道路部

(1) 道路部予算のポイント

◆予算編成の考え方、重視した取り組み

- 1 幹線・準幹線道路舗装管理計画(長寿命化計画)に基づき、計画的に道路の維持補修をします。(道路維持課 96ページ)
- 2 橋梁管理計画(長寿命化計画)に基づき、異常や損傷を早期に発見し、処置を講じるための点検や維持補修を行います。(道路維持課 96ページ)
- 3 電柱の無い街並みと良好な景観を形成し、また災害時の電柱倒壊等の被害を防止するため、無電柱化を進めます。(道路整備課 97ページ)
- 4 相原駅周辺の街づくりの推進のため、相原駅東口へのアクセス路等の整備を進めます。(道路整備課 97ページ)
- 5 円滑な通行と交通の安全を確保するため、都市計画道路と生活道路を結ぶ準幹線道路の整備を進めます。(道路整備課 97ページ)
- 6 環境負荷の少ない自転車の利用促進と、自転車と歩行者・自動車が安心・安全に通行できる道路環境を整備します。(道路整備課 97ページ)
- 7 都道である町田街道・鎌倉街道・成瀬街道の渋滞解消や歩行者、自転車の安全性向上に、東京都と協力して取り組みます。(道路整備課 99ページ)
- 8 円滑に移動できる道路網を実現するため、道路網の基幹である都市計画道路の整備を進めます。(道路整備課 99ページ)
- 9 鶴川駅周辺の街づくりの推進のため、鶴川駅北口広場及び南北自由通路の整備を進めます。(道路整備課 99ページ)

(2) 6月補正予算 道路部予算総括表

一般会計

(単位:千円)

款	項目	補正前の額	補正額	合計	事業名
8	土木費				
1	土木管理費				
	1 道路総務費	5,597	0	5,597	
2	道路橋梁費				
	1 道路計画費	63,518	0	63,518	
	2 道路管理費	170,584	0	170,584	
	3 道路維持費	1,788,332	168,842	1,957,174	道路維持費 道路橋梁費
	4 道路整備費	1,352,388	375,359	1,727,747	道路新設改良費 準幹線道路新設改良事業費 準幹線補助道路新設改良事業費
3	都市計画費				
	6 街路整備費	1,246,396	93,158	1,339,554	都計道3・4・49(相原町)築造事業費 都計道3・4・34(南大谷)築造事業費 みちづくり・まちづくりパートナー事業費 都計道3・4・41(小山)築造事業費 鶴川駅北口広場整備事業費 南町田グランベリーパーク駅北口広場築造事業費 都計道3・4・9(成瀬)築造事業費 鶴川駅南北自由通路築造事業費
11	災害復旧費				
1	公共土木施設災害復旧費				
	1 道路等災害復旧費	2	0	2	
合計		4,626,817	637,359	5,264,176	

※職員人件費は除いています。

道路部予算(一般会計)財源内訳

(単位:千円)

	予算額	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
補正前の額	4,626,817	229,305	758,221	1,034,000	693,891	1,911,400
補正額	637,359	10,115	195,154	153,000	97	278,993
合計	5,264,176	239,420	953,375	1,187,000	693,988	2,190,393

(3) 事業の説明

一般会計		款 8	項 2	目 3	道路維持費	
	予算額	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
6月補正	168,842	8,915	24,631	60,000	97	75,199

担当 道路維持課

予算書 21 ページ

○事業の内容

- ① 道路を計画的に維持管理することで、良好な道路環境を維持し、誰もが安全かつ円滑に移動できるようにします。
- ② 橋梁やペDESTリアンデッキの定期点検や補修工事を計画的に行い、安全で快適に通行できるようにします。

○2022年度6月補正における主な取り組み

- ① 道路(3路線)の舗装を補修します。また路面性状調査(堺地区)を実施します。
- ② 橋梁の補修設計(3橋)と定期点検(鶴川地区55橋、相原橋)を行います。またペDESTリアンデッキの補修設計(1基)と定期点検(3基)を実施します。

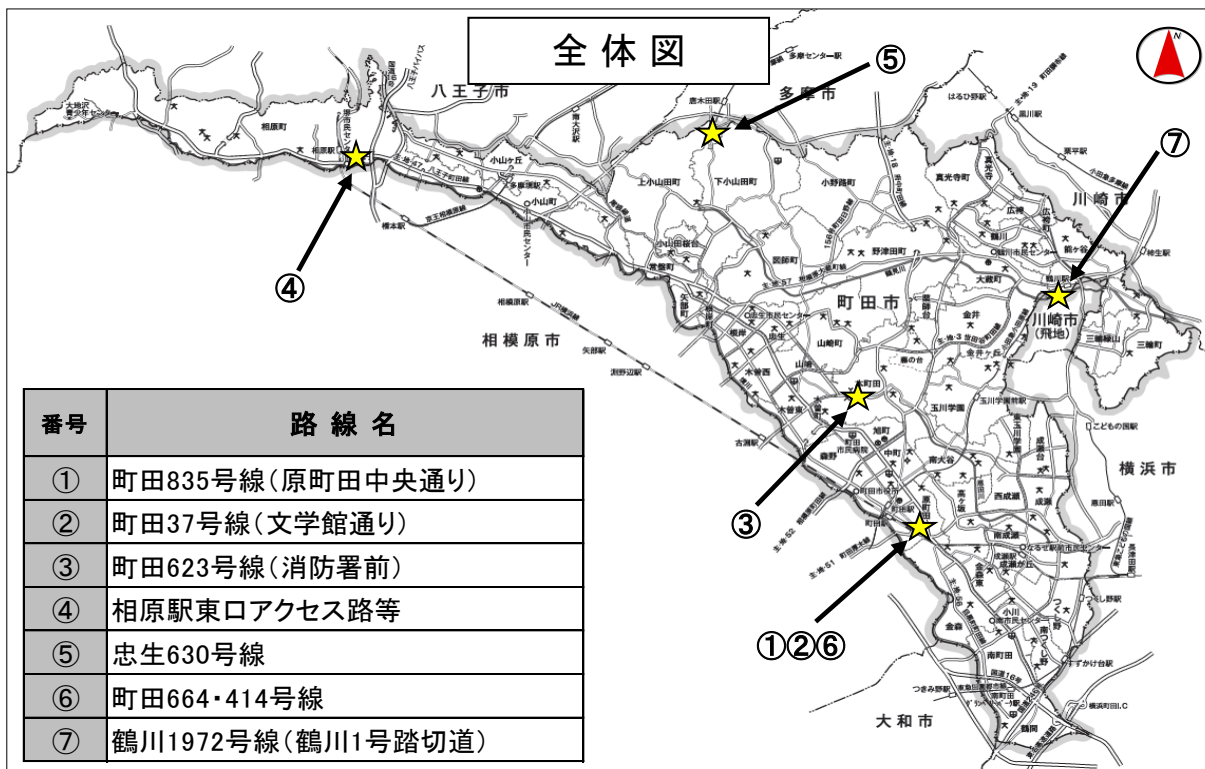
主な事業費	① 補修工事費(町田439号線ほか2路線)	88,306千円
	機器等保守点検委託料(路面性状調査)	4,591千円
主な特定財源	② 機器等保守点検委託料(橋梁等)	33,671千円
	補修工事費(ペDESTリアン1号デッキ)	19,000千円
	実施設計委託料	11,968千円
	(橋梁3橋・ペDESTリアン2号デッキ上屋補修)	
① 防災・安全交付金(国1/2)	500千円	
	道路橋梁費補助金(都3/10)	21,189千円
② 道路メンテナンス事業費補助金(国5.5/10)	8,415千円	
	道路橋梁費補助金(都2.25/10)	3,442千円

一般会計		款 8	項 2	目 4	道路整備費	
	予算額	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
6月補正	375,359	1,200	170,523	93,000	0	110,636

担当 道路整備課

予算書

21 ページ



○事業の内容

- ① 町田835号線(原町田中央通り)は、市民や来街者の通行が多く、景観向上、商業活性化が期待されることから、無電柱化に向けた整備を行います。
事業規模:延長280m
- ② 町田37号線(文学館通り)は、中心市街地から芹が谷公園へのアクセス路の1つとなっており、町田835号線と同様に商業活性化が期待されることから、無電柱化に向けた整備を行います。事業規模:延長280m
- ③ 町田623号線(消防署前)の沿道には、2017年11月に町田消防署が移転し、防災機能の更なる向上を図る上で重要であることから、無電柱化に向けた整備を行います。
事業規模:延長900m
- ④ 相原駅周辺の街づくり推進のため、相原駅東口へのアクセス路等を整備します。
事業規模:延長400m 幅員12m、延長250m 幅員6m
- ⑤ 忠生630号線は、公共交通機関の充実、交通量増加への対応及び交通安全性の向上などを図るため整備します。
事業規模:延長650m 幅員13m
- ⑥ 町田664・414号線の自転車と歩行者・自動車が安全・安心に通行できる道路空間を実現するため、自転車通行空間を整備します。事業規模:延長300m
- ⑦ 鶴川1972号線(鶴川1号踏切道)は、踏切部の幅員が狭く自動車のすれ違いが出来ない状況となっていることから、自動車及び歩行者の安全性向上を図るため、踏切道の拡幅改良を行います。事業規模:延長10m 幅員6m

道路部

○2022年度6月補正における主な取り組み

- ① 詳細設計(道路・電線共同溝)を行います。
- ② 予備設計(電線共同溝)を行います。
- ③ 詳細設計(道路・電線共同溝)を行います。
- ④ 用地取得を行います。
- ⑤ 用地取得を行います。
- ⑥ 道路改良工事を行います。
- ⑦ 踏切改良工事を行います。

主な事業費	① 設計委託料	15,500千円
	② 設計委託料	8,500千円
	③ 設計委託料	900千円
	④ 物件等補償料	192,100千円
	用地購入費	82,887千円
	⑤ 用地購入費	18,795千円
	物件等補償料	14,000千円
⑥ 整備工事費	5,730千円	
⑦ 整備等負担金	△76,000千円	

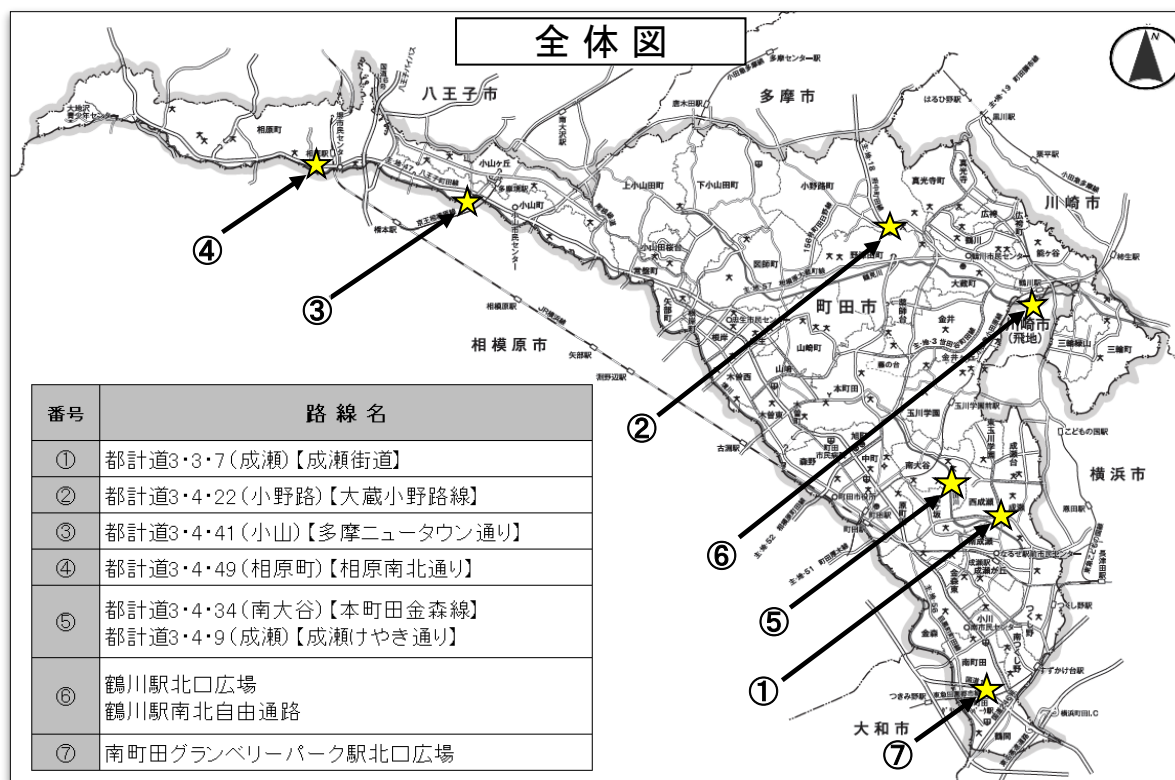
債務負担行為 ⑦ 整備等負担金
(2022年～2024年度債務負担行為事業 総事業費 395,373千円)

主な特定財源	① 無電柱化チャレンジ支援事業補助金(都10/10)	15,500千円
	② 無電柱化チャレンジ支援事業補助金(都10/10)	8,500千円
	④ 道路橋梁費補助金(都1/2)	119,948千円
	道路整備事業債	134,000千円
	⑤ 道路橋梁費補助金(都1/2)	13,075千円
	道路整備事業債	10,000千円
	⑥ 防災・安全交付金(国1/2)	1,200千円
⑦ 道路橋梁費補助金(都1/2)	△19,000千円	
道路整備事業債	△51,000千円	

一般会計		款 8	項 3	目 6	街路整備費	
	予算額	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
6月補正	93,158	0	0	0	0	93,158

担当 道路整備課

予算書 22 ページ



○事業の内容

円滑に移動できる道路網を実現するため、東京における都市計画道路の整備方針(第四次事業化計画)で選定された道路や第三次みちづくり・まちづくりパートナー事業に採択されている道路の整備を進めます。

鶴川駅周辺再整備基本方針に基づき、鶴川駅北口広場及び鶴川駅南北自由通路の整備を進めます。

- ① 成瀬街道の成瀬コミュニティセンター前交差点における交通の円滑化を図るため、整備を都から受託し、市が用地取得・工事を行います。
事業規模:延長110m 幅員22~25m
- ② 鎌倉街道の小野路交差点における交通の円滑化を図るため、整備を都から受託し、市が用地取得・工事を行います。
事業規模:延長300m 幅員16m
- ③ 相模原市方面のアクセス向上及び町田街道の渋滞の解消を目的として、道路及び橋梁の整備を行います。
事業規模:延長50m 幅員18m
- ④ 八王子市から相模原市を結ぶ南北道路ネットワークを構築します。また、相原駅西口広場と相模原市の都市計画道路を接続することにより、周辺道路の渋滞を解消します。
事業規模:延長120m 幅員16m

⑤ 南大谷交差点から小田急線をアンダーパスし、南大谷小・中学校の間を抜け、市立成瀬うさぎ谷戸公園西側までを整備します。本路線を整備することにより、成瀬三ツ又交差点から南大谷交差点までの既存路線の慢性化した渋滞を解消します。
事業規模:延長1,290m 幅員16m

⑥ 都市基盤整備により駅前としての土地利用の増進や都市防災機能の向上等を進め、交通利便と生活環境等の改善を図ります。また、南北自由通路を整備し、駅南北の連絡性の向上を図り、交通結節点としての機能を強化します。
事業規模:北口広場 8,200㎡
自由通路 延長120m 幅員10.5m

⑦ 駅前交番設置完了に伴い、歩道の本設舗装工事を行います。
事業規模:4,989㎡

○2022年度6月補正における取り組み

- ① 道路詳細設計と地質調査を行います。
- ② 道路詳細設計と地質調査を行います。
- ③ 地質調査設計等を行います。
- ④ 管理工事を実施します。
- ⑤ 路線・用地測量を行います。
- ⑥ 修正設計等を行います。
- ⑦ 歩道舗装工事を行います。

主な事業費	① 設計委託料	5,193千円
	調査等委託料	4,500千円
	② 設計委託料	7,793千円
	調査等委託料	5,400千円
	③ 調査等委託料	4,500千円
	④ 管理工事費	2,214千円
	⑤ 測量委託料	5,800千円
⑥ 設計委託料	25,000千円	
⑦ 整備工事費	30,000千円	